平成２６年度　事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	I	市民の文化・芸術活動の育成・支援
目標		文化情報の収集と周知に努めるとともに、文化の創造的な活動を活性化するため、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供に努める。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	文化振興事業への参加者数	人	2,845	1,996	2,218	1,494	2,028	2,215	－	3,000
指標②	文化に関心がある市民の割合	%	54.8	－	－	49.4	－	－	－	65.0
指標③	文化・芸術団体やサークル等への加入率	%	18.2	－	－	9.0	－	－	－	25.0

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　市民文化活動の活性化	①　文化活動の成果を発表する機会の充実	・地域に根ざした自主的・個性的な文化活動の成果を発表する機会を充実します。
1-②	1　市民文化活動の活性化	②　各団体とのネットワーク化、情報提供	・民間や文化活動団体と市、学校とのネットワーク化を推進します。 ・様々な文化情報を収集して広く市民に周知するとともに、市内で行われる文化活動への参加を促進します。
1-③	1　市民文化活動の活性化	③　多様な鑑賞事業等の実施	・生涯学習施設を積極的に利用し、市民のニーズに応じた質の高い多様な鑑賞事業に取り組みます。
1-④	1　市民文化活動の活性化	④　施設の整備	・文化サークルやグループなどの文化活動団体が継続して文化活動が行える施設の整備に努めます。
2-①	2　文化活動を担う人づくり	①　文化活動との出会いの場づくり	・文化活動の担い手が広がるよう、文化活動との出会いや交流の場づくりを進めます。
2-②	2　文化活動を担う人づくり	②　学校、地域、文化団体、企業との連携	・学校や地域、文化活動団体、企業との連携を深め、広く情報提供を行うとともに、文化教室・公開講座・イベント等の充実に努めます。
2-③	2　文化活動を担う人づくり	③　子どもたちの文化施設等の利用促進	・学校や地域において、子どもたちが自主性や主体性を養い、文化活動を行う機会を指導者の協力を得て充実するとともに、子どもたちの文化施設等の利用を促進します。
2-④	2　文化活動を担う人づくり	④　ボランティア、指導者の育成と人材リストのデータベース化	・市民の知識や経験を他の市民の文化活動に活かせるよう、幅広い分野でのボランティアや指導者の養成に努めるとともに、人材リストをデータベース化し情報提供に努めます。

Plan ・ Do

事業概要

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	1-②	登別市文化振興助成金	教育委員会	社会教育G	S45	－	ソフト	一般会計	地域に根ざした文化振興活動を行う文化団体を支援することにより、市民が文化に親しむことのできるまちづくりの推進を目的とする。	H24	登別市文化協会	登別市における文化の振興と裾野拡大のために活動を行っている登別市文化協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。 【活動内容】 ・加盟団体数：31団体　約1,400名 ・事業内容：機関誌・文芸誌の発行（年１回）、共催事業（第48回市民文化祭、第35回道民・第42回眼振芸術祭）への協力、市民活動センターでのぼりん文化講座の開催、道外・道内の文化協会との交流事業等	登別市補助金等の事務取扱いに関する規則
										H25	上記のとおり	登別市における文化の振興と裾野拡大のために活動を行っている登別市文化協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。 【登別市文化協会の活動内容】 ・加盟団体数：31団体　約1,500名 ・事業内容：機関誌・文芸誌の発行（年１回）、共催事業（第49回市民文化祭、白石市との姉妹都市提携30周年事業へ）への協力、参加、市民活動センターでのぼりん文化講座の開催	上記のとおり
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり
		53112001											
2	1-④	市民会館整備事業	教育委員会	社会教育G	H21	－	ハード	一般会計	市民会館の修繕を行うことにより、市民が安心・安全に文化活動を行うことのできる環境の整備を図ることを目的とする。	H24	－	－	－
										H25	市民会館利用者	【改修内容】大ホール ・煙感知器交換修繕 ・シーリング・移動用ライト用部品交換修繕 ・フロントライト用部品交換修繕 ・サスペンションライト用部品交換修繕	登別市民会館設置条例、登別市民会館設置条例施行規則
										H26	上記のとおり	【改修予定】 ・正面玄関段差解消修繕	上記のとおり
		53114001											

事業の成果、目標

指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標
加盟団体	団体	31	31	32	32	32	32
加盟人数	人	1,412	1,502	1,500	1,500	1,500	1,500
市民会館年間利用者数	人	76,405	77,402	77,000	77,000	77,000	77,000
－	－	－	－	－	－	－	－

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】

NO	名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案
1	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	800	800	800	800	800	800
	合　計	800	800	800	800	800	800
2	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債			6,100			
	その他						
	一般財源		5,403	2,060	20,000	20,000	20,000
	合　計	0	5,403	8,160	20,000	20,000	20,000

Check

NO	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H24 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	「文化の香り高いまちづくり」を目的とする文化協会の活動は、登別市の文化発信の拠点として、市民の文化活動の裾野を広げるとともに文化向上にもつながっていることから、今後も支援していく必要がある。
	H25	上記のとおり		
	H26	上記のとおり		
2	H24 以前	－	維持	事業の実施により、当市で最も規模の大きい文化施設を今後も市民が安全・安心に利用することが可能となることから、豊かな心を育成する文化活動を行う環境の整備は必要である。
	H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。		
	H26	上記のとおり		

Action

NO	今後の事業の方向性【H27以降】
1	今後も文化協会の活動を支援し、市民の文化活動の裾野を広げ、文化の向上を図っていく。
2	事業の継続を図り、老朽化による故障や部品供給の終了した設備についても計画的に整備を実施していく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																Check			Action
									事業概要				事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】								第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称		H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案					
3	2-①	児童・生徒文化振興助成金	教育委員会	社会教育G	H7	―	ソフト	一般会計	文化活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減することにより、児童等の文化活動の振興を目的とする。	H24	市内の小、中学校、高校に在籍する生徒、児童	市内の小、中学校、高等学校に在籍する児童・生徒が、文化活動で全道・全国大会に出場する際、経費の一部を助成した。 北海道大会：17件 全国大会：４件	登別市児童、生徒文化振興助成金交付要綱	全国大会参加者数（引率者含む）	人	19	0	10	10	10	10	国庫支出金								H24 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	文化活動の取組みは児童・生徒の豊かな心身の育成等の面から重要であり、それらの活動の成果として全国・北海道大会に出場している。しかし、これらの旅費を学校や保護者が全額負担することは、経済的にも厳しいことから財政的な支援は必要である。	児童・生徒が全国・北海道大会に出場し、質の高い文化活動を学ぶ機会を支援すること で、今後も、登別市の文化振興を図っていく。
																					道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり 北海道大会：９件 全国大会：０件	上記のとおり								地方債								H25	上記のとおり			
																					その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	北海道大会参加者数	人	185	106	100	100	100	100	一般財源		768	315	800	800	800	800	H26	上記のとおり			
		53121001																			合 計		768	315	800	800	800	800					
4	2-①	西いぶり定住自立圏文化事業負担金	教育委員会	社会教育G	H9	―	ソフト	一般会計	市民がより質の高い文化に触れることにより、地域文化の振興を図ることを目的とする。	H24	登別・室蘭・伊達市民	登別市、室蘭市及び伊達市の３市で実行委員会を組織し、各市の負担金により、年１回、輪番で文化事業を開催した。 演目：劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」 日程：平成24年６月３日（日） 会場：室蘭市文化センター 来場者数：982名	三市合同文化事業実行委員会会則	来場者比率(来場者数／座席数)	%	98	89	90	90	90	90	国庫支出金								H24 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業は、市民に高度な文化を提供する機会となっており、心を豊かにし生活にゆとりを与えるものであることから事業を継続する必要がある。	今後も広域的な文化交流事業として取り組み、西胆振全体での文化振興の実現を目指していく。
																					道支出金												
										H25	西胆振地域住民	西いぶり定住自立圏（登別・室蘭・伊達・豊浦・壮瞥・洞爺湖）で実行委員会を組織し、３市の負担金により輪番で文化事業を開催した。 演目：コンサート　ピアノの万華鏡 日程：平成25年７月７日（日） 会場：登別市民会館 来場者数：612名	西いぶり定住自立圏文化事業実行委員会会則								地方債								H25	西いぶり定住自立圏対象事業として、新たに３町（豊浦町・洞爺湖町・壮瞥町）が加わった。			
																					その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定 演目：ミュージカル「クリスマス・キャロル」 日程：平成26年12月16日（火） 会場：だて歴史の杜　カルチャーセンター	上記のとおり	―	―	―	―	―	―	―	一般財源		592	856	1,000	1,000	1,000	1,000	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
		53121002																			合 計		592	856	1,000	1,000	1,000	1,000					

全会計　合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	6,100	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,160	7,374	4,660	22,600	22,600	22,600
	合計	2,160	7,374	10,760	22,600	22,600	22,600
一般会計　合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	6,100	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,160	7,374	4,660	22,600	22,600	22,600
	合計	2,160	7,374	10,760	22,600	22,600	22,600
	区分【再掲】	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案